

今回は… ^{おさむ}【森 蘊の業績と京都の庭園】に関する図書をご紹介します

森 蘊とは … 昭和時代の庭園史家。明治 38 年 8 月 8 日生まれ。
平安時代の古庭園を文献調査と発掘により研究、復元整備もおこなった。
日本建築学会賞、日本造園学会賞を受賞。
『講談社日本人名大辞典』(講談社) p1910 “森蘊” の項より

◆『日本庭園史話』

(森 蘊／著 日本放送出版協会) 請求記号 庫1 L/629. 2/モ
半世紀にわたる著者の庭園史研究の足取り、研究の手段や段階、日本庭園史の大きな流れについて描かれた1冊。庭園のカラー写真や図も随所に掲載され、わかりやすく解説されています。

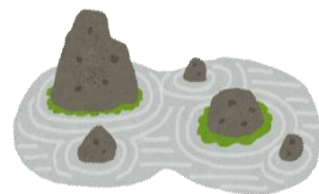


◆『「作庭記」の世界』

(森 蘊／著 日本放送出版協会) 請求記号 庫1 L/629. 2/モ
平安時代後期に書かれたといわれる、日本最古の造園秘伝書である「作庭記」について、上段に全文を下段に現代語訳を配置し、その難解な内容を易しく読み解いています。後半の現存庭園の解説は、詳細な実測図付きです。

◆『桂離宮』

(森 蘊／著 創元社) 請求記号 禁 庫1 L/521. 8/モ
名園桂離宮の美しさに魅せられた著者が、その全景をより正しく解説し、人工と自然が調和した、世界に誇る総合芸術であることを後世にも伝えていきたい、と記した1冊。桂離宮の歴史、構想、建築、特色等、その美の本質と価値について詳細に述べられています。



◆『平安京と貴族の住まい』

(西山 良平ほか／編著 京都大学学術出版会) 請求記号 L/210. 36/へ
第三章で里内裏の庭園遺構について、第六章では平泉と京都の庭園の類似性について述べ、平安京に生きた貴族たちの邸宅の実像に迫ります。

◆『庭園思想と平安文学』 (倉田 実／著 花鳥社) 請求記号 L/910. 23/ク

庭園の植栽については、その植物設定が物語の展開と密接に関係していたことから「源氏物語」などの文学作品にも描写されることが多く、庭園研究の際にも貴重な史料として活用されてきました。文学研究の観点から平安文学作品を取り上げ、それぞれの作品から多様に読み取れる庭に関する情報を考察しています。

このほかにも、関連する図書を所蔵しています。
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。
貸出・閲覧や、調べ物のおてつだいをご希望のかたは、
中央図書館 2 階・参考図書室へおこしください。

